（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援エフ　　　茶山教室Ⅱ		
○保護者評価実施期間	2026年　1月　23日　～　2026年　1月　31日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）28	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	2026年　1月　23日　～　2026年　1月　31日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワーキングメモリーの向上を図るカリキュラムやタブレットでの学習を行っている。	エフ独自のタブレット学習のタスクを用いて、 ワーキングメモリーの向上に特化した学習を行っている。 また、それぞれの生徒さんの特性や成長過程に合わせたSST(ソーシャルスキルトレーニング)のカリキュラム学習を行っている。	
2	教室間での支援内容の統一化。	それぞれの生徒さんが利用する教室間で、 どのような支援方法に取り組んでいくのかを常に共有し、教室ごとに相違のない支援に繋げている。	
3	レスパイトと療育の両立。	ご家族の日々の疲れや悩みを解消し、 生徒さんをお預かりすることでご家族の負担軽減を図っている。また、お預かりするだけでなく、その中で療育を行っている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館などでの地域の他の生徒さんとの交流の機会は少ない。	室内での療育を基本としている為、 教室外での地域交流は難しいのが現状。	児童館などでの地域の交流は難しいが、 外出イベント等での様々な施設の方との交流は可能であると感じている。
2	保護者会などの、保護者同士での交流の場が少ない。	それぞれの保護者様にもお仕事や事情がある為、 交流の機会を設けることは難しい。	保護者様同士での交流や情報交換は難しいが、 エフのホームページ内にあるブログなどの情報を公開することで、情報の発信は出来ている。
3			